



校長だより

これからしばらく、本校の教育について、お伝えしていきます。

今回は、まず学校教育目標、学校経営目標・計画をお知らせし、次回からその解説をします。

本校は創立以来、学校教育目標を次のようにしています。

「個別の教育支援計画に基づき、児童生徒の障害の状態や発達段階における一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を行い、もてる力を高め、自立や社会参加をめざして、人との関わりを大切にしながら、心豊かな児童生徒を育成する。」



○ 学校経営目標・計画

- 1 心豊かで明るくはつらつとした学校生活の創造
 - ・ 明るいあいさつにつつまれ、自立や社会参加に向けた主体的な取り組みをする児童生徒、「目指す社会人」の模範となる教職員が共に学び合う日常をつくる（あいさつ・ことば・態度）
- 2 具体的な指導内容の考察・実践
 - ・ 児童生徒個々の発達を十分把握し、生活年齢を考慮して長期展望に立った指導内容を保護者と共に考察する。
 - ・ 教職員が研鑽し合いながら、児童生徒一人一人の教育的ニーズに沿った授業づくりを行う。
（アセスメントの活用、一貫性のある授業づくりと公開、評価と修正、説明責任、チームティーティング）
- 3 人権を尊重し児童生徒が健康で安全な生活を送ることのできる環境の創造
 - ・ 教職員が障害、人権について研鑽を積む。
（ICFの理解と活用、バリアフリー・ユニバーサルデザイン）
 - ・ 児童生徒が安全で安心して学べる教育環境を保証する。（ハード、チームティーティング）
- 4 個別の教育支援計画・個別の移行支援計画（進路指導）の充実
 - ・ 児童生徒が安心して充実した日常生活、学校生活が送れるよう保護者や関係機関等と連携し、具体的な目標及び支援内容を明確にする。
 - ・ 各地域でのケア会議をできるだけ多く実現させる。
 - ・ 長い人生を展望し、各ライフステージで充実した生活が送れるよう近隣の学校・関係諸機関と連携を図り実践する。
 - ・ 就学前、在学中から卒業後への地域サービスは連動したものである認識に立って取り組む。
- 5 地域資源の開拓
 - ・ 地域の方々との交流を深め、校外の教育環境・教材を開発する。

校長 木本 陽一